

世界血友病連盟 (WFH)

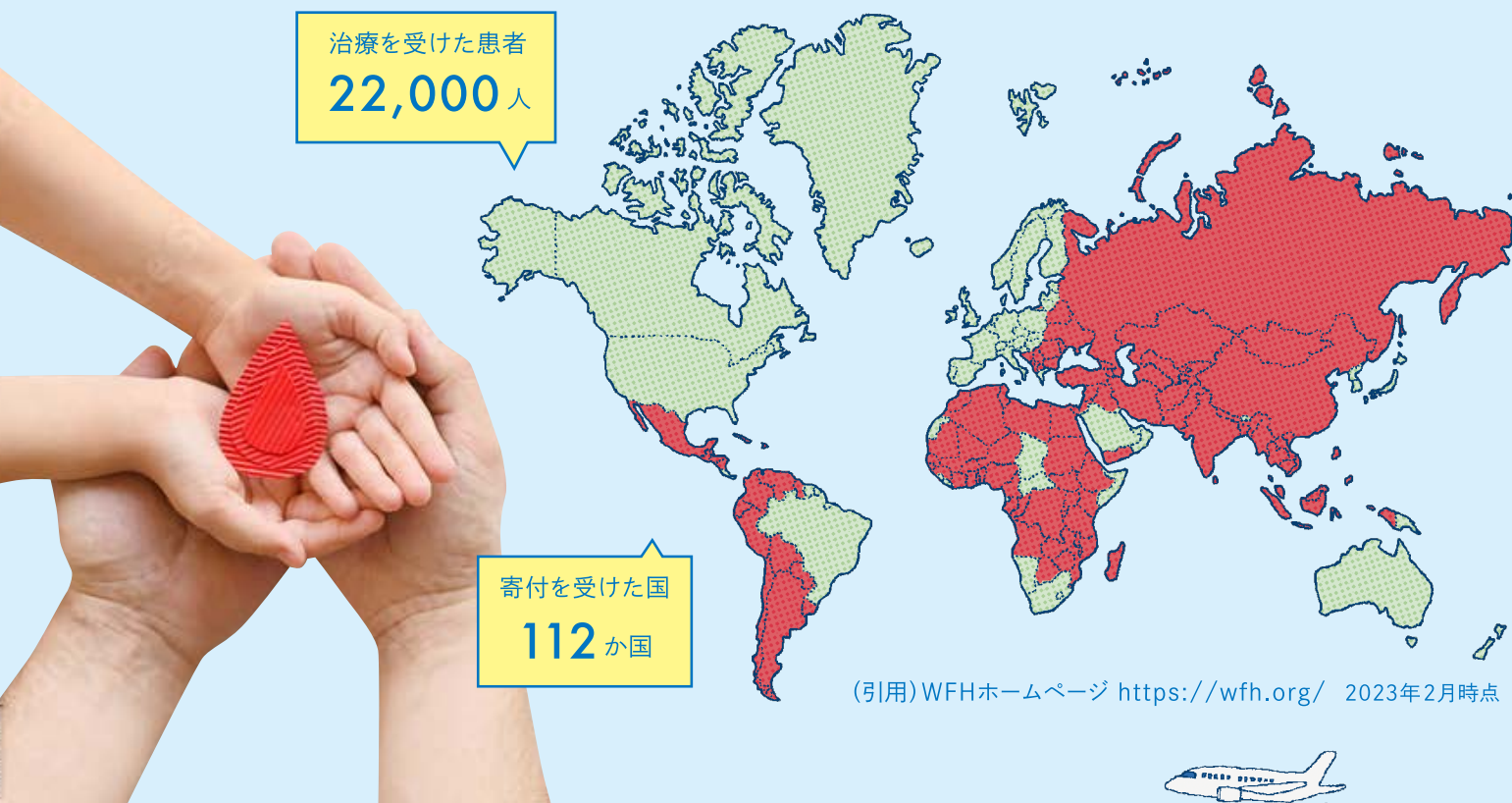
人道支援プログラムのご紹介

WFHとは？

世界血友病連盟(英語:World Federation of Hemophilia)の略です。血友病や遺伝性出血症を持つ人々の生活を改善することを目的とした世界で活動する非営利団体です。世界全体の75%の血友病患者は、まだ診断を受けておらず治療を受けられていない実態があり、それを改善するため「Treatment for All (全ての人に治療を)」を理念に活動しています。

WFH人道支援プログラムについて

WFHは、出血性疾患の種類、性別、居住地に関係なく、安全な治療とケアへの信頼できるアクセスを提供することにより、発展途上国におけるアクセスの欠如を変える取り組みを主導しています。発展途上国でのケアと治療へのアクセスの欠如は、緊急かつ重要な公衆衛生上の課題です。1996年のプログラム創設以来、112か国で22,000人以上の患者の治療に貢献しています。



JB日本血液製剤機構の取り組み

JBでは、WFHの「全ての人に治療を」という理念に賛同し、SDGs(持続可能な開発目標)への取り組みの一環として、WFHを通じて治療機会に恵まれない国の血友病患者さんに血液凝固第VIII因子製剤をお届けする活動に取り組んでおります。

